

## 令和 6 年 第 4 回定例会 総務企画委員会資料

### 令和 6 年度 政策企画部主要事業の経過等

1	報告事項の概要等	2
2	「いばらき幸福度指標」の見直しと 2024 年度の 全国順位について	5
3	「シン・いばらきメシ総選挙 2024～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～」の開催結果について	9
4	水郡線全線開通 90 周年に係る取組について	13
5	令和 3 年度県民経済計算における茨城県の状況に ついて	16
6	水道事業の広域連携の推進について	17
7	県北振興の取組について	19

令和 6 年 12 月 10 日

政 策 企 画 部

# 1 報告事項の概要等

---

## (1) 「いばらき幸福度指標」の見直しと2024年度の全国順位について

- 「いばらき幸福度指標」は、社会情勢の変化などを踏まえ、不断の見直しを行うとともに、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた進捗を確認するため、毎年度、指標による全国順位を算出のうえ公表。
- 11月25日に指標の見直しと2024年度の全国順位を公表。

## (2) 「シン・いばらきメシ総選挙2024～市町村対抗いばらき最強グルメ決定戦～」の開催結果について

- 魅力ある新たな「食」の観光資源を創出し、地域振興の起爆剤とするため、「シン・いばらきメシ総選挙2024」を、10月12日から14日の3日間、水戸市の茨城県三の丸庁舎で実施し、県内外から延べ約64,000人の来場があり大変な盛り上がりとなった。
- 来場者の投票や専門家による審査などを経て、一般料理部門では、五霞町の「シン・茨城あげそば～パリッ！カリッ！5つの味変シン食感～」が、スイーツ部門では、小美玉市の「ダイヤモンドブラン」がそれぞれグランプリに決定。
- 今後、首都圏メディアやインフルエンサーを対象とした試食会の開催など受賞グルメ等が県外に広く認知されるよう、プロモーション活動を推進。

### **(3) 水郡線全線開通 90 周年に係る取組について**

- 12月4日の全線開通記念日に向け、メインイベントである水郡線フェス及び記念セレモニー等の企画を実施したほか、JR東日本と連携し、特別列車の運行にあわせたツアーを催行。
  
- 水郡線フェスでは、11月30日と12月1日の2日間、大子町において、沿線グルメや駅弁の販売、高校生が企画したグッズ販売やPRを行うコーナーの設置、「リスカの地上絵」展示公開などを実施し、計12,000の方が来場。
  
- 12月1日には、大子町で行った記念セレモニーから、福島県塙町で行われた福島県側の記念式典へのだるまのリレーにより、JR東日本・茨城県・福島県の連携のシンボルとした。

### **(4) 令和3年度県民経済計算における茨城県の状況について**

- 10月7日に内閣府が令和3年度の各都道府県の県民経済計算推計結果を公表し、同年度の本県の県内総生産や1人当たり県民所得の全国順位等が確定。

## (5) 水道事業の広域連携の推進について

- 将来にわたり水道サービスを持続可能なものとするため、「茨城県水道ビジョン」に基づき、水道施設の効率的運用、経営面でのスケールメリットの創出、人材の確保などを可能とする広域連携に向けた検討を実施。
- 水道施設の全体最適化、国の交付金の活用、県企業局（水道用水供給事業）と市町村等（水道事業）との「経営の一体化（経営統合）」によるスケールメリットを活かした経営に取り組む方針として、市町村等と調整中。
- 県企業局を統合先とする経営統合を進める方針に合意する市町村長等と基本協定を締結（令和7（2025）年2月予定）。  
基本協定の締結後、法定協議会を設置し、経営統合に向けた詳細な諸条件を調整。

## (6) 県北振興の取組について

- 政策企画部が実施している県北地域の振興事業について、前回定例会以降進捗等があった主なものを報告。
  - ① 常陸国ロングトレイルの取組  
日本有数の距離を誇り、県北地域の多様な地域資源を活かしたアウトドアコンテンツである常陸国ロングトレイルについて、本県を代表する観光コンテンツへの成長を推し進めることで、国内外からの誘客を一層促進。
  - ② デジタル里山アドベンチャー事業  
国内外で人気のアニメ「忍たま乱太郎」を活用した県北山間部を中心とする周遊イベントを10月12日から11月20日にかけて開催し、ファミリー層や若者層を中心に周遊・誘客を促進。

## 2 「いばらき幸福度指標」の見直しと2024年度の全国順位について



# 「いばらき幸福度指標」の見直しと 2024年度の全国順位について



### 「いばらき幸福度指標」とは？

#### ◆目的・概要

- ・今まで抽象的だった幸福を「見える化」 → 県民一人ひとりの幸せが実現できる環境の状況を数値で把握
- ・全国順位を算出 → 政策課題の明確化、本県の豊かさ・暮らしやすさをわかりやすく発信

#### ◆茨城県が考える幸福

県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられること

#### 指標の考え方

- ・公表されている**政府統計等**を基に、**客観的指標**で幸福を定量的に把握
- ・計画に掲げる**チャレンジごと**に特色となる**キーワード**を抽出し、関連する指標を設定（2022.3発表時点：38指標、2022.12発表時点：41指標、2023.12発表時点：42指標）
- ・「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた進捗を確認するため、**毎年度**、指標を都道府県間で比較可能な数値に変換し**全国順位**を算出の上公表



幸福度指標  
ロゴマーク

#### これまでの取組

- ・「幸せ」についての対談動画の公開や広報用パンフレットの配布、県政出前講座の実施等により**積極的な広報**を展開
- ・（一財）日本総合研究所が作成する「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」において、**「健全な自治体経営につながる画期的な試み」として絶賛！**



パンフレット  
「IBARAKI NEXT  
CHALLENGE」



● **新しい豊かさ**

<b>雇用</b>	①雇用者報酬（雇用者1人当たり） ②正規雇用率
<b>産業振興</b>	③県民所得（県民1人当たり） ④工場立地件数 ⑤労働生産性（1時間当たり）
<b>農林水産業</b>	⑥農林水産業の付加価値創出額（県民1人当たり）
<b>観光振興</b>	⑦外国人宿泊者数 ⑧国内旅行者数
<b>環境保全</b>	⑨CO2排出量（県民1人当たり） ⑩一般廃棄物リサイクル率

● **新しい安心安全**

<b>地域医療・介護・保健</b>	①医師数 ②看護職員数 ③介護職員数 （いずれも県民10万人当たり） ④介護・看護を理由とした離職率 ⑤自殺者数（県民10万人当たり）
<b>健康長寿</b>	⑥健康寿命
<b>自立支援</b>	⑦障害者雇用率 ⑧相対的貧困率
<b>犯罪防止</b>	⑨刑法犯認知件数（県民千人当たり）
<b>防災対策</b>	⑩自主防災組織カバー率 ⑪自然災害死者・行方不明者数

● **新しい人財育成**

<b>教育振興</b>	①子どものチャレンジ率 ②大学進学率 ③学力 ④教員のICT活用指導力 ⑤不登校児童生徒率
<b>出産・育児</b>	⑥合計特殊出生率 ⑦待機児童率
<b>学び・文化・スポーツ・遊び</b>	⑧教養・娯楽（サービス）支出額 ⑨都道府県指定等文化財件数 ⑩子どもの運動能力
<b>多様性・女性活躍・人権</b>	⑪パートナーシップ制度人口カバー率 ⑫女性の管理職登用率 ⑬人権侵害事件件数（県民1万人当たり）
<b>働き方</b>	⑭所定外労働時間 ⑮男性の育児休業等制度利用率

● **新しい夢・希望**

<b>国際交流</b>	①留学生数（県民10万人当たり）
<b>ベンチャー創出</b>	②起業率
<b>若者に魅力ある雇用</b>	③本社機能流出・流入数 ④若者就職者超過率【変更】
<b>新しい人の流れ</b>	⑤転入超過率
<b>DX推進</b>	⑥デジタルガバメント率（市町村）

「いばらき幸福度指標」の見直しについて

- 「いばらき幸福度指標」は、社会情勢の変化や幸福に関する様々な研究成果などを踏まえ、  
不断の見直しを行うこととしており、今回、以下のとおり指標の見直しを実施

見直しの内容

- ✓ 若者に魅力ある雇用の充実状況については、「若者就職者増加率」の算出方法を「直近3ヵ年平均の入職者増加率」としているが、3年前の入職者数が増加率の算定に影響してしまうため、直近の状況を把握できるよう、算出方法を見直し。

現行指標の算出方法	算出方法の見直し
$\frac{\text{直近3年間の入職者（29歳以下）}}{\text{前年から3年間の入職者（29歳以下）}} = \frac{\text{（2021年）} + \text{（2022年）} + \text{（2023年）}}{\text{（2021年）} + \text{（2022年）} + \text{（2020年）}}$ <p style="text-align: right;">（単位：千人）</p>	$\frac{\text{入職者（29歳以下※）} - \text{離職者（29歳以下※）}}{\text{29歳以下の人口※}}$

※2023年の統計値を使用

区分	指標名	チャレンジ	指標が示すもの	統計名	調査項目・算出方法等	備考
変更	若者就職者超過率	夢・希望	若者に魅力ある雇用の充実状況	厚生労働省「雇用動向調査」 総務省「人口推計」	29歳以下の入職超過者数 ÷ 29歳以下の人口	若者就職者増加率から変更

いばらき幸福度指標による全国順位 2024

[全国順位2023]

豊かさ 5位 人財育成 15位  
 安心安全 40位 夢・希望 11位  
 総合順位 13位



チャレンジ別順位 (スコア)

豊かさ 4位(2.33) 人財育成 11位(1.05) } 総合順位 (スコア)  
 安心安全 42位(-2.22) 夢・希望 15位(1.49) } 13位(2.65)

順位	新しい豊かさ	新しい安心安全	新しい人財育成	新しい夢・希望	総合
1位	東京都 (9.89)	大分県 (5.13)	福井県 (3.52)	東京都 (6.53)	東京都 (14.80)
2位	北海道 (3.38)	島根県 (3.78)	東京都 (2.43)	神奈川県 (6.21)	神奈川県 (7.74)
3位	愛知県 (2.69)	山口県 (3.19)	埼玉県 (2.29)	埼玉県 (5.49)	埼玉県 (6.70)
4位	<b>茨城県 (2.33)</b>	福井県 (2.71)	徳島県 (1.83)	京都府 (4.90)	大分県 (5.60)
5位	神奈川県 (2.10)	鹿児島県 (2.65)	石川県 (1.58)	福岡県 (4.69)	静岡県 (5.24)
6位	千葉県 (1.78)	佐賀県 (2.54)	富山県 (1.23)	千葉県 (3.95)	千葉県 (4.70)
7位	長野県 (1.64)	三重県 (2.49)	岡山県 (1.18)	沖縄県 (3.67)	愛知県 (4.17)
8位	静岡県 (1.55)	長崎県 (2.26)	岐阜県 (1.11)	大阪府 (3.07)	福井県 (3.94)
9位	栃木県 (1.20)	宮崎県 (2.25)	鳥取県 (1.10)	静岡県 (2.25)	石川県 (3.57)
10位	徳島県 (0.84)	石川県 (1.87)	栃木県 (1.07)	愛知県 (2.21)	京都府 (3.40)
	42位 茨城県 (-2.22)	11位 茨城県 (1.05)	15位 茨城県 (1.49)	13位 茨城県 (2.65)	

いばらき幸福度指標による全国順位 2024

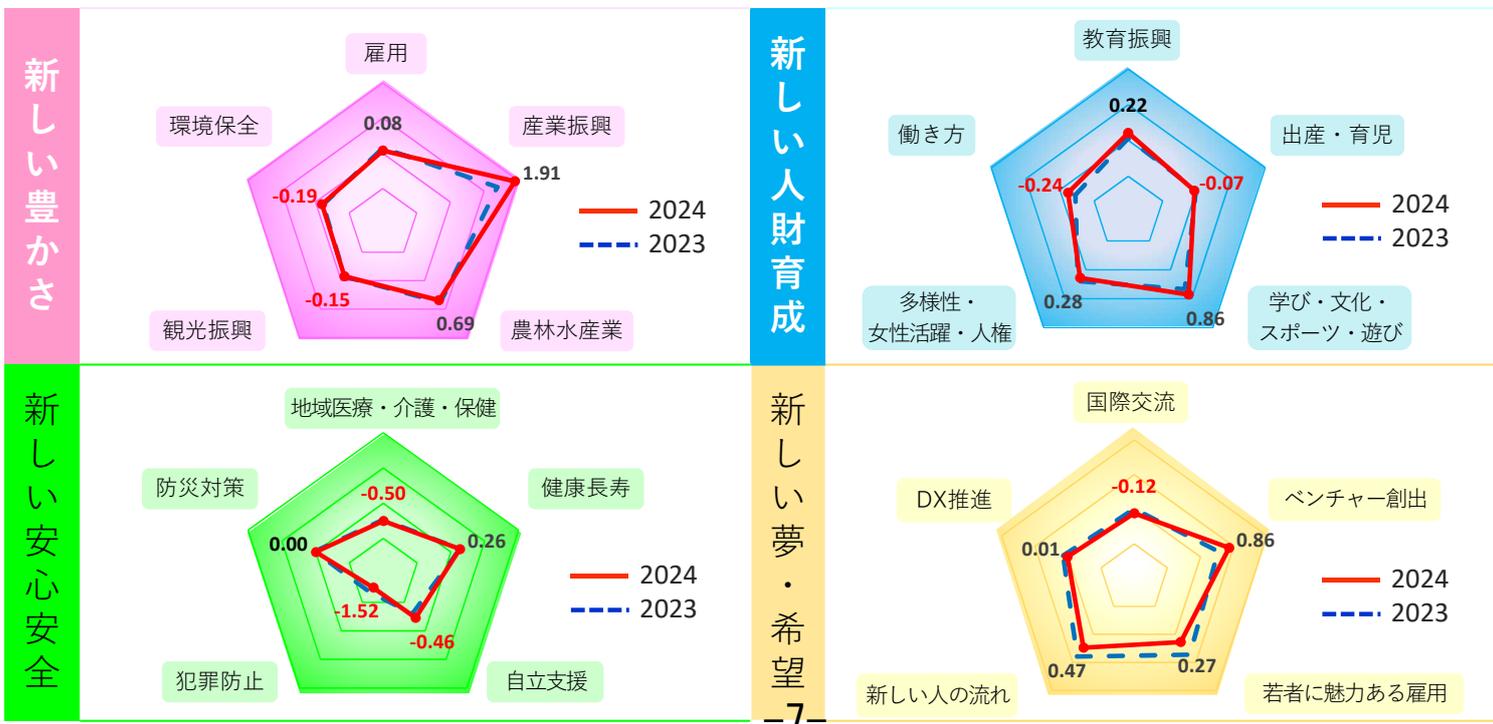
[全国順位2023]

豊かさ 5位 人財育成 15位  
 安心安全 40位 夢・希望 11位  
 総合順位 13位



チャレンジ別順位 (スコア)

豊かさ 4位(2.33) 人財育成 11位(1.05) } 総合順位 (スコア)  
 安心安全 42位(-2.22) 夢・希望 15位(1.49) } 13位(2.65)



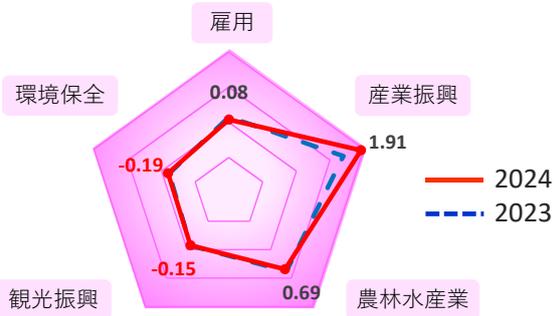


チャレンジ別順位 (スコア)

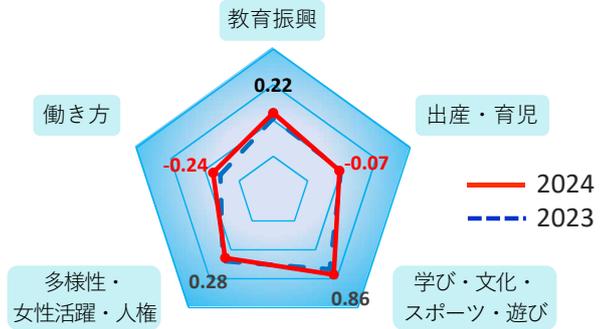
豊かさ 4位(2.33) 人財育成 11位(1.05)  
 安心安全 42位(-2.22) 夢・希望 15位(1.25)

総合順位 (スコア)  
 13位(2.41)

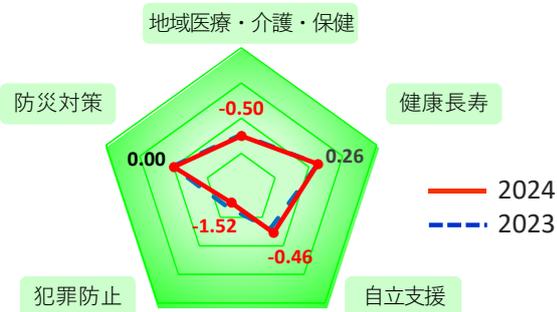
新しい豊かさ



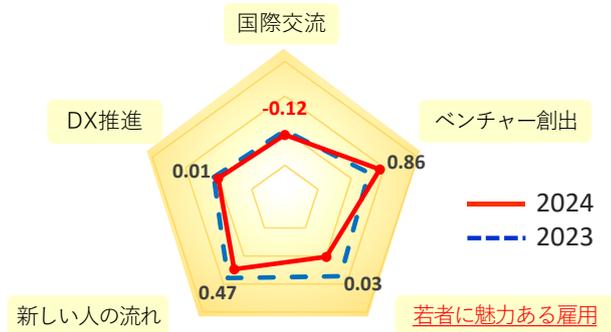
新しい人財育成



新しい安心安全



新しい夢・希望



### 3 「シン・いばらきメシ総選挙 2024～市町村対抗いばらき最強グルメ決定戦～」の開催結果について

#### (1) 目的

魅力ある新たな「食」の観光資源を創出し、地域振興の起爆剤とするため「シン・いばらきメシ総選挙 2024」を開催し、本県を代表するナンバーワンご当地グルメを決定するとともに、受賞グルメについては県外に集中的なプロモーションを展開していく。

#### (2) 「シン・いばらきメシ総選挙 2024」開催結果概要

##### ① 開催結果概要

- ・開催日時：令和6年10月12日（土）～14日（月・祝）（3日間）
- ・開催場所：茨城県三の丸庁舎（水戸市）
- ・来場者数：延べ約64,000人（3日間）



[総選挙会場内の模様]



[ステージパフォーマンスの様様]



[表彰式の様様]

##### ② グランプリ等受賞グルメ

順位	一般料理部門	スイーツ部門
グランプリ	シン・茨城あげそば～パリッ！カリッ！5つの味変シン食感～ (五霞町)	ダイヤモンドブラン（小美玉市）
準グランプリ	HITACHI ブランドあんかけ飯 (日立市)	シェーブルチーズのふわとろタルト（水戸市）
第3位 (スイーツ部門は 同点で2件選出)	けんちんまん（常陸太田市）	COPA DE BASCHEE～飲むバスチーパフェ～（高萩市） 茨城町産米粉のシフォンケーキトリコロールパルフェ（茨城町）



[一般料理部門グランプリ]  
シン・茨城あげそば  
～パリッ！カリッ！5つの味変シン食感～  
(五霞町)



[スイーツ部門グランプリ]  
ダイヤモンドブラン  
(小美玉市)

### ③ 特別賞受賞グルメ（グランプリ等とは別枠）

#### ア 秋元真夏特別賞

- ・ J A全農が運営する産地直産通販サイト「J Aタウン」のオフィシャルサポーターを務める秋元真夏さんの一押しグルメに特別賞を授与

部門	グルメ名称
スイーツ	鯛パフェ（利根町）

#### イ 協賛企業特別賞 10 協賛企業・団体から 12 賞

- ・ 以下の 10 協賛企業・団体が独自の基準で決定する特別賞計 12 賞を授与

協賛企業名	特別賞名称	部門	グルメ名称
(株) カスミ	カスミ賞	一般	シン・かしまし豚丼～最強のアントラーズサポーター応援メシ～（鹿嶋市）
		スイーツ	江戸崎かぼちやのほっくりモンブランプリン（稲敷市）
J Aグループ茨城	J Aグループ茨城賞	一般	シン・かしまし豚丼～最強のアントラーズサポーター応援メシ～（鹿嶋市）
雪印メグミルク（株）	雪印メグミルク賞	スイーツ	香る焼き芋バスケットケーキ（かすみがうら市）
木内酒造（株）	木内酒造特別賞	一般	BRT ライスバーガー（小美玉市）
アサヒ飲料（株）	アサヒ飲料賞	スイーツ	茨城町産米粉のシフォンケーキトリコロールパルフェ（茨城町）
	三ツ矢賞	スイーツ	筑西の美味しいがてんこ盛り芋づくしクレープ（筑西市）
キリンビール（株）	キリン賞	一般	なめ天（行方市）
東日本高速道路（株）	NEXCO 東日本～あなたにベスト・ウェイ。～賞	スイーツ	COPA DE BASCHEE～飲むバスチーパフェ～（高萩市）
スカイマーク（株）	スカイマーク～やさしさいっぱい茨城空港～賞	スイーツ	ダイヤモンドブラン（小美玉市）
味の素（株）	味の素賞～Eat Well Live Well 賞～	一般	割烹仕込しじみ尽くしラーメン（茨城町）
特殊電極（株）	トクデン肉盛溶接賞	一般	シン・かしまし豚丼～最強のアントラーズサポーター応援メシ～（鹿嶋市）

### (3) メディア露出状況 (令和6年12月1日現在)

令和5年8月の記者発表以降、テレビや新聞、Webメディアなど合計67件のメディア露出  
(露出のあった主なテレビ番組)

NHK「午後LIVE ニュースーン」、NHK水戸放送局「いば6」、  
日本テレビ「news every」、テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、  
TBS「Nスタ」、フジテレビ「めざましテレビ」

(露出のあった主な新聞メディア)

読売新聞(全国夕刊)、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、茨城新聞

### (4) イベント後の受賞グルメプロモーション等

- ・今後、首都圏メディアやインフルエンサーを対象とした試食会などを開催するなど、受賞グルメを中心としたプロモーション活動を進めていく。

(イベント後、既に実施)

「茨城をたべよう収穫祭」への出店、  
東京・銀座のアンテナショップ「IBARAKI sense」での期間限定販売、  
「道の駅ごか」での通常販売(シン・茨城あげそば(五霞町))、  
「空のえき そ・ら・ら」での通常販売(ダイヤモンドブラン(小美玉市))

### 【参考】シン・いばらきメシ総選挙2024開催に係る参考事項

#### ① エントリー部門

- ・市町村は、一般料理とスイーツの2部門にエントリー可能
- ・一般料理とスイーツの2部門でそれぞれグランプリを決定

#### ② エントリー条件

- ・新規グルメであること又は既存のご当地グルメの場合は、味や素材・材料の配合など、新たな工夫によりブラッシュアップを図ること
- ・茨城県産の食材が使用されていること
- ・茨城県内に所在する飲食店事業者等と連携し、エントリー品目が実際に店舗やイベント等で販売・提供される予定であること

#### ③ エントリー状況 全44市町村がエントリー

(一般料理部門41市町村、スイーツ部門39市町村)

#### ④ グランプリ等の決定方法

- ・「公式WEBサイトからの事前投票」と「総選挙会場での投票」の結果を総合して、一般料理、スイーツそれぞれの部門でファイナリスト上位10市町村を決定
- ・ファイナリスト上位10市町村について、「審査員による審査」の結果により一般料理、スイーツそれぞれの部門でグランプリ、準グランプリ、第3位を決定

#### ⑤ 協賛企業

- ・特別賞設定企業・団体を含め全19企業・団体から協賛をいただき、特別賞設定のほか、ポスター掲示等によるPRやブース出展、ステージイベントによるイベントの盛り上げ等に協力を得た。

企業名	特別賞	ポスター 掲示等	ブース 出展	ステージ イベント	ノベルティ
(株) カスミ	○	○	○	-	-
JA グループ茨城	○	○	○	-	○
雪印メグミルク (株)	○	○	○	○	○
木内酒造 (株)	○	-	○	-	-
アサヒ飲料 (株)	○	○	○	○	○
麒麟ビール (株)	○	○	○	-	-
東日本旅客鉄道 (株)	-	○	-	-	-
スカイマーク (株)	○	○	○	○	○
東日本高速道路 (株)	○	○	○	-	○
首都高速道路 (株)	-	○	○	-	○
首都圏新都市鉄道 (株)	-	○	-	-	○
(株) 常陽銀行	-	○	-	-	-
ハウス食品 (株)	-	-	○	-	-
味の素 (株)	○	-	-	-	-
キューピー (株)	-	○	-	-	○
(株) ノーブルホーム	-	○	-	-	-
特殊電極 (株)	○	○	○	-	-
(株) NTT ドコモ	-	○	○	-	-
ヤマト運輸 (株)	-	○	○	-	-

## ⑥ その他

- ・総選挙当日の賑わいづくりのために、以下の取組を実施

### ア 飲料ブースの出店

- ・茨城県酒造組合や IBARAKI クラフトビール研究会、麒麟ビール、アサヒ飲料の協力により、エントリーグルメと相性バツグンな県内地酒 ・クラフトビール・ソフトドリンクなどが勢ぞろい

### イ ステージパフォーマンス

- ・12日(土)：大洗高校マーチングバンド部、常陸國太子連パフォーマンス、マシコタツロウ 等
- ・13日(日)：安達勇人&いばらき若旦那、水戸マーチングバンドブルーストーン 等
- ・14日(月)：茨城県警察音楽隊コンサート、水戸葵陵高校書道部パフォーマンス、秋元真夏トークショー 等

### ウ 協賛企業・協力団体によるブース出展

- ・JAグループ茨城：ベジチェック、オーガニック野菜の販売 等
- ・体験型ブース（協力：アサヒ飲料、雪印メグミルク、ハウス食品、スカイマーク、茨城県警察本部等）
- ・農業科・商業科等県立高校・県内私立大学の「食」に関するブース出展

## 4 水郡線全線開通 90 周年に係る取組について

### (1) 目的

県及び「茨城県水郡線利用促進会議」（県と沿線 6 市町で構成）において、水郡線全線開通 90 周年を機に、沿線の新たな魅力を発信し、継続的な利用促進につながる取組を推進する。

### (2) 取組状況について

12 月 4 日の全線開通記念日に向け、メインイベントである水郡線フェス及び記念セレモニー等の企画を実施するほか、J R 東日本と連携し、特別列車の運行にあわせたツアーを催行した。

#### ① 水郡線フェス

- ・実施場所：大子町文化福祉会館「まいん」 ほか
- ・主催：特定非営利活動法人まちの研究室
- ・内容：沿線グルメフェス、水郡線駅弁コーナー、沿線高校生の企画コーナー、ステージイベント、熱気球搭乗体験、「リスカの地上絵」展示公開 等
- ・来場者数：約 12,000 人
- ・実施日：令和 6 年 11 月 30 日（土）、12 月 1 日（日）



#### 「リスカの地上絵」展示公開（だいが小学校）

- ・地上絵サイズ 縦 12m×横 20m
- ・「うまい棒」51,948 本使用
- ・制作参加人数：3,752 人（10～11 月沿線でのイベント等で制作）
- ・メディア掲載件数：12 件（テレビ 3 件、新聞 8 件、ラジオ 1 件）



#### ② 水郡線統括センターまつり～水郡線全線開通 90 周年記念～

- ・実施日：令和 6 年 12 月 1 日（日）
- ・実施場所：水郡線統括センター ほか
- ・主催：J R 東日本 水郡線統括センター
- ・内容：D E 10 撮影会、レールスター乗車体験、鉄道古物販売会、記念入場券の販売 等
- ・来場者数：約 1,000 人



### ③ 水郡線全線開通 90 周年記念セレモニー

- ・実施日：令和6年12月1日（日）
- ・実施場所：JR常陸大子駅前
- ・主催：茨城県水郡線利用促進会議
- ・出席者：茨城県知事、JR東日本水戸支社長 ほか 約60名
- ・内容：YOSAKOI チームによるお出迎え  
 第14回「奥久慈清流ライン 乗ってみよう水郡線」児童絵画展表彰式  
 「リスカの地上絵」お披露目動画の公開  
 福島県とのだるまりレーイベント



### ④ 特別列車の運行

	列車名	使用車両	運行日
1	全線開通 90 周年記念ラッピング車両	(普通車両にラッピング施工)	10/9～
2	水郡線 90 周年風っこ号	びゅーコースター風っこ	11/2、3
3	水郡線 90 周年茨城号	びゅーコースター風っこ	12/1
4	水郡線 90 周年福島号	レトロラッピング車両	12/1
5	水郡線全線開通 90 周年号	記念ラッピング車両	12/1
6	リゾートビュー奥久慈号	リゾートビューふるさと	12/7、8
7	水郡線酒蔵紀行「水郡線 Shu*Kura」	越乃 Shu*Kura	12/21、22

【使用車両】



【記念ラッピング車両】



【びゅーコースター風っこ】



【レトロラッピング車両】



【リゾートビューふるさと】



【越乃 Shu\*Kura】

## ⑤ 特別列車を活用したツアー

### ア 「びゅうコースター風っこ」を活用した「いばらきよいとこプラン」

- ・実施日：令和6年11月2日（土）、3日（日）、12月1日（日）
- ・実施主体：いばらき観光キャンペーン推進協議会  
一般社団法人茨城県観光物産協会
- ・内容：「びゅうコースター風っこ」を活用し、「開運スポット」や「和文化」などのテーマを通して沿線の魅力を体験するプランを展開
- ・参加者数：73人



### イ 「水郡線 Shu\*Kura」との連携による「BAR BUS HITACHINO」の運行

- ・実施日：令和6年12月21日（土）、22日（日）
- ・実施主体：タビットツアーズ株式会社
- ・内容：軍鶏料理と木内酒造のお酒を堪能するオプションツアー

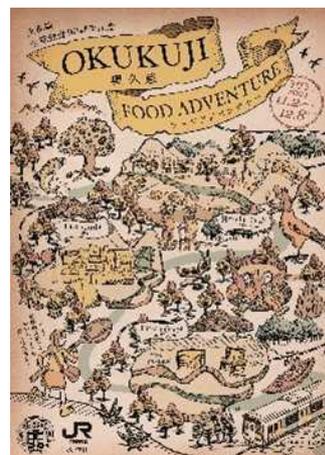
## ⑥ 記念駅弁の販売等

### ア 水郡線 90周年記念駅弁「いろ鶏どり」

- ・実施日：令和6年10月5日（土）～
- ・販売：しまだフーズ有限会社
- ・内容：軍鶏や玉こんにゃくなど水郡線沿線のブランド食材を中心に、味にも見た目にもこだわった 駅弁を限定販売

### イ 水郡線沿線飲食店をグルメマップで巡る「奥久慈フードアドベンチャー」

- ・実施日：令和6年11月2日（土）～12月8日（日）
- ・実施主体：JR東日本水戸支社
- ・内容：沿線飲食店の季節食材を使用したメニューをグルメマップで紹介（参加店舗数 14店舗）



## 5 令和3年度県民経済計算における茨城県の状況について

### ○ 概要

令和6年10月7日に内閣府が令和3年度の各都道府県の県民経済計算推計結果を公表した。

県内総生産（名目）	14兆5,391億円で、	全国第11位（前年度第11位）
名目経済成長率	5.7%で、	全国第5位（同第9位）
実質経済成長率	6.6%で、	全国第4位（同第13位）
1人当たり県民所得	343万8千円で、	全国第3位（同第4位）
1人当たり県民雇用者報酬	471万4千円で、	全国第11位（同第11位）

表 茨城県の全国順位等の推移（過去5年間） ※着色箇所は遡及改定により順位が改定となったもの。（黄：上昇、緑：低下）

年度	県内総生産(名目)		名目経済成長率		実質経済成長率		1人当たり県民所得		1人当たり県民雇用者報酬	
	(億円)	順位	(%)	順位	(%)	順位	(万円)	順位	(万円)	順位
平成29年度	142,487	11位	6.4	1位	6.7	1位	337.0	6位	452.1	20位
平成30年度	143,465	11位	0.7	23位	0.7	20位	338.6	5位	462.3	18位
令和元年度	140,427	11位	-2.1	41位	-2.5	41位	332.0	8位	474.8	11位
令和2年度	137,497	11位	-2.1	9位	-3.2	13位	313.6	4位	470.3	11位
令和3年度	145,391	11位	5.7	5位	6.6	4位	343.8	3位	471.4	11位

※ 昨年12月に内閣府が国民経済計算の計数を遡及改定したことにより、各県とも令和2年度以前の計数を遡及して再計算している。このため、例えば令和2年度の本県の1人当たり県民所得の全国順位は、第7位から第4位に改定となっている。

### (参考)

#### (1) 令和3年度の日本経済の状況

- 新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言等が断続的に発出され、外食や旅行等の消費に弱さがみられたが、10月より経済社会活動の水準が段階的に引き上げられ、個人消費や設備投資は前年度水準を上回った。
- 諸外国は日本に先立って行動制限を緩和しGDPがコロナ前の水準を回復し、このような海外経済の改善を受け輸出が増加した。
- 半導体など部品供給不足が自動車の生産・輸出に大きな影響を与えた。

#### (2) 本県の状況

- 経済成長率は、主に製造業、次いで建設業の総生産の増加が牽引し、名目・実質ともに国を大幅に上回り、県内総生産（名目）及び1人当たり県民所得は本県の過去最高額となった。  
(国の経済成長率は、名目3.0%、実質3.1%)
- 国においては、主力の自動車産業が部品供給不足により伸び悩んだ一方、本県は、コロナ禍からの世界経済の回復に伴う国内外の設備投資需要を取り込み、鉄鋼や生産用機械などの生産が大幅に増加した。

## 6 水道事業の広域連携の推進について

### (1) 県内水道事業の広域連携に向けた検討の経過について

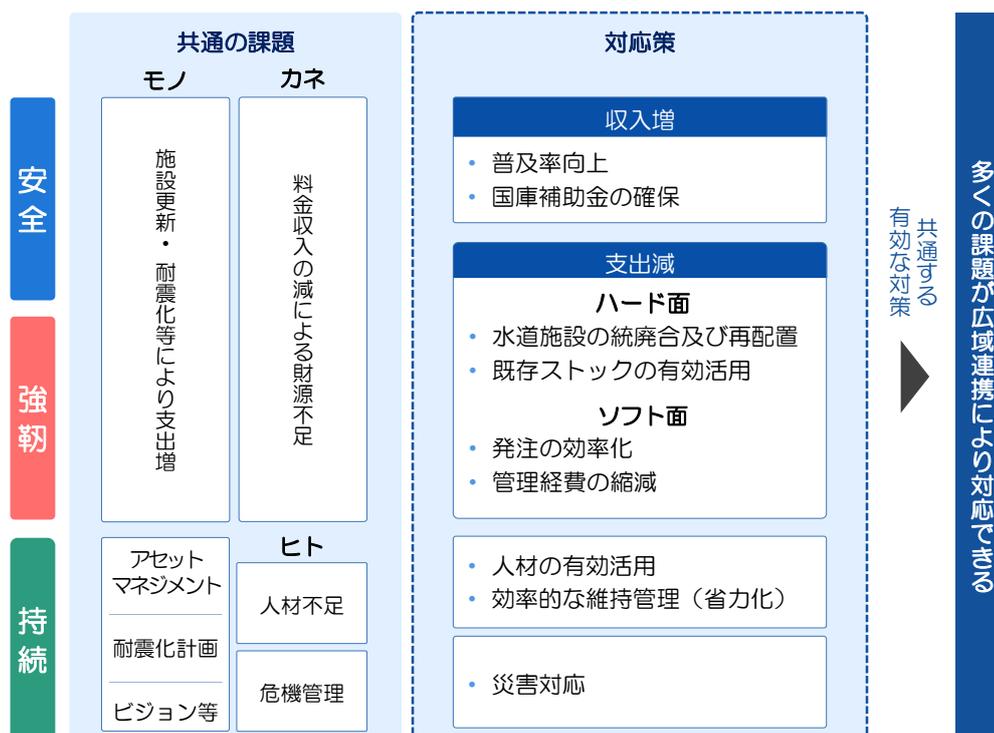
- ・水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少に伴う料金収入の減少、老朽化施設の更新や耐震化等の対策に伴う支出の増加、技術系人材の不足などにより、急速に厳しさを増しており、各市町村単独での対応には限界がある。
- ・県では、将来にわたり水道サービスを持続可能なものとするため、「茨城県水道ビジョン」（令和4（2022）年2月）に基づき、水道施設の効率的運用、経営面でのスケールメリットの創出、人材の確保などを可能とする広域連携の検討を進めてきた。
- ・具体的には、大規模な浄水場を活用して小規模な浄水場を統廃合する施設の全体最適化、国の交付金の活用、県企業局（水道用水供給事業）と市町村等（水道事業）との「経営の一体化」※によるスケールメリットを活かした経営など、市町村等と連携して検討・調整を進めている。

※経営の一体化…経営主体は同一で組織及び管理が一体化されているが、水道法上の事業認可や会計及び料金体系は異なる、広域連携の形態の一つ

#### (参考) 主な検討の経過

- ・令和4（2022）年2月：「茨城県水道ビジョン」を策定し、本県水道の理想像（安全・強靱・持続）の実現を目指した広域連携の方針を示す
- ・令和5（2023）年3月：「茨城県水道事業広域連携推進方針」を策定
- ・令和5（2023）年10月～：「水道事業に係る広域連携検討・調整会議」を設置

(参考) 広域連携による水道現況・課題への対応のイメージ（「茨城県水道ビジョン」より）



## (2) 経営の一体化（経営統合）に向けたスケジュール（案）について

- ・ 県企業局を統合先とする経営の一体化（経営統合）を進める方針に合意した市町村長等と基本協定を締結（令和7（2025）年2月予定）。
- ・ 基本協定の締結後、法定協議会を設置するなど、経営統合に向けた詳細な諸条件の調整を進めていく。

### 【経営統合に向けたスケジュール（案）】

	R5（2023）以降	（合意が得られた場合）		
		R7（2025）.2以降	～R9(2027)	R10(2028)以降
スケジュール（案）	検討・調整会議	基本協定締結 〃（追加分）	法定協議会	経営の一体化（経営統合）
取組内容等	・ 詳細なシミュレーション等の実施	・ 経営の一体化（経営統合）の方針に合意	・ 経営の一体化（経営統合）に向けた最終調整 ・ 必要な計画の策定	・ 企業局による市町村末端給水事業の着実な経営

### 【基本協定（案）の概要】

項目	概要
経営統合の目的	水道事業の経営健全化及び基盤の強化
経営統合の対象	水道事業（簡易水道事業を除く）及び水道用水供給事業
経営統合の時期	協定締結後3年程度以内
経営統合の方法	事業ごとに区分経理（当面料金統一はしない）
経営統合の主体	県企業局（事業経営・執行を県企業局が行う）
運営体制	経営統合時は市町村からの自治法派遣等
資産等	水道事業の用に供する資産・負債・資本は県企業局が継承
投資・財政計画の策定※	市町村等は経営統合までに投資・財政計画を策定・公表
法定協議会	経営統合に向けた検討を行うため、市町村長等を構成員として設置

### ※水道事業の基盤強化・経営水準の向上に向けた「投資・財政計画」の策定について

- ・ 県水道ビジョンに定める本県水道の理想像を実現するためには、水道事業の基盤強化及び経営水準の向上を計画的に進めていく必要があるため、経営統合に参加する各水道事業において、経営統合後を見据えた「投資・財政計画」を策定し、公表する予定。
- ・ 当該計画では、老朽化施設の更新・耐震化の実施に加え、長期的な収支見通しに基づいた適正な水道料金の設定（料金改定）等も盛り込み、経営統合後はこれらの計画に沿って円滑な事業執行を図っていく。

## 7 県北振興の取組について

### (1) 常陸国ロングトレイルの取組について

#### ① 目的

日本有数の距離を誇り、県北地域の多様な地域資源を活かしたアウトドアコンテンツである常陸国ロングトレイルについて、本県を代表する観光コンテンツへの成長を推し進めることで、国内外からの誘客を一層促進する。

#### ② 具体的な取組状況

##### ア ロングトレイルコースの整備・活用等

###### (ア) コースの整備

時点	開通延長
令和6年3月末	219km
令和7年3月末	275km（予定）

###### (イ) 来訪者数等

(参考)

	R3	R4	R5	R6. 4~10	R5. 4~10
来訪者数	3,660人	9,912人	45,249人	48,331人	24,695人

##### イ 登山アプリを活用したデジタルスタンプラリーの実施

登山アプリとしては国内最多のダウンロード数を誇る「ヤマップ」と連携したデジタルスタンプラリーを実施。

###### 【キャンペーン概要】

期間	令和6年10月1日（火）～令和7年1月31日（金）	
内容	トレイル上の絶景ポイントや景勝地などを周遊してアプリ内でスタンプを集め、割引サービスを提供する飲食店や宿泊施設への来訪を促進	
利用者数	4,345人（10月末現在）	

##### ウ インバウンド向けコンテンツ造成

欧米豪をターゲットとして、インバウンドに訴求する商品を造成し、海外旅行会社をとおして販売。あわせて、外国語で案内ができるガイドを育成。

区分	日時	参加者
ガイド研修の実施	2024年7月31日	11名 (各種ガイド・登山経験者等)
モニターツアーの実施	2024年9月14～16日	ターゲット市場（欧米豪）の有識者（3名）
FAMツアーの実施	2024年11月26～28日	欧米豪向けに旅行商品を販売する旅行会社（2社）

<モニターツアー（2泊3日）の実施状況>



[御岩神社周辺（日立市）]



[町屋地区（常陸太田市）]



[袋田地区（大子町）]

エ プロモーションの実施

里山文化との交流など「日本の原風景」での非日常体験エリアとしてブランディングを確立するためのプロモーションを実施。



[マップ]



[WEB サイト]



[動画]



[ポスター]



[ナショナルジオグラフィック  
トラベラー記事掲載]

③ 今後の取組

- ・里山文化との交流など「日本の原風景」での非日常体験エリアとしてブランディングすることにより、他地域との差別化と認知度の向上を目指す。
- ・未経験者～上級者、日帰り～滞在型等様々なニーズに対応したモデルプラン紹介により、来訪者の増加と滞在時間や消費の拡大を目指す。
- ・県北の豊かな地域資源を巡るアクティビティとして、インバウンドを含む誘客コンテンツ化を図り、国内外からの誘客を一層促進し、県北地域はもとより、県内各地への観光客の周遊促進につなげていく。



[モデルプラン(袋田エリア)]



[モデルプラン(御岩神社エリア)]

## (2) デジタル里山アドベンチャー事業

### ① 実施概要

国内外で人気のアニメ「忍たま乱太郎」を活用した県北山間部を中心とする周遊イベントを令和6年10月12日（土）から11月20日（水）にかけて開催し、ファミリー層・若者層を中心に延べ約3,000名がイベントに参加。

#### ア AR※ボイスラリー・アナログスタンプラリー（スポット：10か所）

- ・周遊スポット来訪によりキャラクターのオリジナルボイスとAR画像を提供。  
※AR：写真にデジタル情報を重ねて表示する技術
- ・キャラクターのオリジナルスタンプとキャラクターパネルの設置。



[AR撮影]



[キャラクターパネル]



[アナログスタンプ]

#### イ 地域の飲食店との協業によるコラボフード提供（6店舗）

「忍たま乱太郎コラボフード」を提供し、注文者にイベントオリジナルステッカーを配布。



[6店舗で提供したコラボフード]

#### ウ 参加者向け特別ツアー催行（10/12～14）

水戸～常陸大子間の水郡線団体臨時列車を片道運行。常陸大子駅からは、ツアー専用の貸切バスにより、7か所のスタンプラリーポイントを周遊。



[水戸駅ホーム]



[水郡線車内]



[スタンプ押印列]

### ② 効果

- ・参加者のうち、20～30代が半数を占め、本イベントにより県北の魅力に初めて触れる層が多数参加。（県外参加者は5割）
- ・スタンプラリーと併せて、飲食店のコラボメニューや果樹狩り体験など、地元事業の意欲的な取組が参加者に人気を博し、再訪の動機付けを提供。
- ・参加者による多数のSNS発信等により、若年層の目線で県北地域の多様な魅力が拡散されたことで、新たな来訪者確保が期待できる。